

新潟大学研究推進機構超域学術院
文部科学省 テニュアトラック普及・定着事業
テニュアトラック教員募集案内

(太陽熱利用(機械工学/化学工学)分野, 脳病態解析分野)

●概要

新潟大学研究推進機構超域学術院では、優秀な若手研究者をテニュアトラック教員として採用し、世界的研究拠点の中核となる人材へと育成するため、平成 24 年度よりテニュアトラック制による採用を導入しています。

平成 27 年度には「文部科学省テニュアトラック普及・定着事業（先進的取組活用促進プログラム）」に採択され、本学における研究の強みをさらに強化するとともに、異分野融合による更なる研究の発展をめざし、この度、以下のとおり本事業による支援を受けるテニュアトラック教員を募集します。

採用されたテニュアトラック教員は、年度ごとの業績評価ならびに最終年度にテニュア審査が行われます。テニュアトラック期間終了時には、今回採用を行う人数分のテニュアポストを用意してありますので、優れた業績を挙げた者は、任期の定めのない常勤の職に採用されます。

●公募要領

1 募集研究分野および募集人員

新潟大学において将来発展が見込まれる以下の研究分野で計 3 名を国際公募します。

募集研究分野	募集人員	
太陽熱利用(機械工学/化学工学)分野	准教授または助教	1 名
脳病態解析分野	准教授および助教	各 1 名

注； 脳病態解析分野の応募者については、准教授、助教候補者両名で事前協議をされた 2 名のペアでの応募を優先する。

2 所属

人事的な所属は新潟大学研究推進機構超域学術院となりますが、募集研究分野に応じて関連部局（自然科学系もしくは脳研究所）で研究を行うこととなります。

3 応募資格

- (1) 博士号取得後 10 年以内で、上記の募集研究分野での研究実績を有し、独創的かつ革新的な研究を推進する強い意欲を持つ若手研究者。
- (2) 応募締切日時点で 40 歳未満（但し、日本国内で臨床研修を課された者は 43 歳未満）であること。（文部科学省平成 27 年度テニュアトラック普及・定着事業公募要領が規定する応募資格を充足する目的で設けられた項目です。）
- (3) 募集研究分野に関連する大学院講義を担当でき、日本語または英語により学生に、分かり

やすく教えることができること。

日本語を母国語としない方は、英文のみによる申請が可能ですので英文募集要項をご覧ください。

※本学では男女共同参画推進室 (<http://www.niigata-u.ac.jp/geo/>) を設置し、ダイバーシティ推進の視点に立った教育・研究・就業環境の整備を推進しております。教員公募においても女性及び海外研究者の応募を歓迎し、研究業績が同等であれば積極的に採用します。

4 研究環境

スタートアップ経費として各研究者に初年度に 500 万円/年、2 年度目に 700 万円/年、経常的な研究経費として3年度目以降に 200 万円/年の研究費を配分する予定です。研究スペースとしては 40~70m²程度を予定しています。

5 職務

(1) 募集研究分野に関する研究・教育を行うこと。

＜太陽熱利用(機械工学/化学工学)分野＞

機械工学(熱工学), あるいは化学工学(反応工学/プロセスシステム)の立場から, 太陽集光の集熱技術や, 太陽集熱を利用した化学反応器・蓄熱システムの開発(設計及び数値的シミュレーション, あるいは設計及び実証試験)を行う。

＜脳病態解析分野＞

神経疾患や精神疾患の発症・病態機序をモデル動物やヒトを対象とし, 分子レベル・細胞レベル・個体レベルで解明する。

(3) 科学研究費助成事業などの外部資金獲得に積極的に取り組むこと。

なお, エフォート率 80%の研究時間がテニユアトラック期間にわたり保障され, 大学の管理・運営に関する業務は原則として免除されます。ただし, 研究分野に関連する大学院生の指導などの教育活動への参加は歓迎します。

6 雇用条件

(1) 給与等 年俸制(国立大学法人新潟大学年俸制教員給与規程による)

(2) 任期 平成 28 年 1 月 1 日(予定)~平成 32 年 3 月 31 日

(3) その他

- ・テニユアトラック教員は, 任期中(5年間)に年度ごとの業績評価を受けます。中間審査(3年度目), 最終審査(5年度目)を受け, 優れた業績を上げた者は任期の定めのない常勤の職に採用されます。
- ・最終審査の結果, 任期の定めのない職への採用が見送られた場合の再任はありません。また, その場合に, 本人からの申し出により, 転出のための準備期間として, テニユアトラック期間を最長 1 年間延長します。
- ・テニユアトラック期間中にライフイベント(出産, 育児等)があった場合は, テニユアトラック期間を最長 1 年間延長します。

7 勤務条件

- (1) 勤務場所は、新潟大学自然科学系（五十嵐キャンパス）又は新潟大学脳研究所（旭町キャンパス）となります。
- (2) 就業に当たっては、新潟大学の諸規則を適用します。
- (3) 知的財産権は、国立大学法人新潟大学職務発明規程に基づき、本学の所有となります。

8 テニユアポストへの登用

今回採用される准教授のテニユアトラック教員は、5年目の最終審査で適格と認められた場合、平成32年4月1日より新潟大学研究推進機構超域大学院の専任准教授、格段に優れた業績を挙げた場合は専任教授として採用されます。

今回採用される助教のテニユアトラック教員は、5年目の最終審査で適格と認められた場合、平成32年4月1日より新潟大学研究推進機構超域大学院の専任准教授として採用されます。

なお、評価の基準としては、テニユアトラック期間中の「研究活動実績」、 「研究費獲得実績」、 「国際活動実績」に重点を置き、「教育活動実績」、 「マネジメント能力」、 「本学（部局）への貢献」も考慮して総合的に評価を行います。

9 提出書類（各研究者ごとに1式）

- (1) 履歴書（様式1）
- (2) 研究業績書（任意様式）
 - (ア) 著書、学位論文、学術論文（レフリース付き論文のみ）、総説、報告書（レフリースなしの論文を含む）、国際会議発表論文（招待論文がある場合には明記のこと）および最近5年間の学会発表（口頭・ポスター別）に区分して記述する。インパクトファクターのある雑誌には*印をつける。
 - (イ) 主要な学術論文（5編以内）の別刷（コピーでも可）を添付する。
- (3) 科研費のこれまでの獲得状況、それ以外の競争的資金、受託研究費などの最近5年間の獲得状況について、それらの種目・種類、題目、研究代表者名、金額（分担の場合は分担額）および研究期間をまとめたリスト、ならびに特許・実用新案（出願中も含む）等を記したリスト（任意様式）
- (4) これまでの研究概要および採用された場合の研究や教育の抱負について、それぞれ2000字程度にまとめたもの（任意様式）
- (5) 研究計画調書（様式2）（本学に採用された場合の5年度間の研究計画について図を含め、10.5ポイントの文字でA4判用紙5枚以内で作成。併せて、着任可能時期についても明記すること）。ペア応募については、両者の研究計画の協調性と相互関係についても個々に記載ください。
- (6) 研究費使用計画（「4 研究環境」に記載の配分予定額をもとに、備品費、消耗品費、旅費、その他に分け、主な支出内訳を明記して、年度ごとの使途予定を表（任意様式、A4判用紙1枚）としてまとめること）
- (7) 応募者について照会可能な方2名の連絡先（氏名、所属、電話、電子メールアドレス）
提出用の様式は、以下のHPからダウンロードしてください。

「新潟大学テニユアトラック事業」

http://www.niigata-u.ac.jp/tenure_track/recruitment/information.html

10 応募方法

「提出書類」の(1)～(7)の書類をそれぞれPDFファイルにしたものを電子メールに添付の上、

「12 提出先および問い合わせ先」に記載の提出先にお送りください。その際、メールの件名に応募研究分野、職種を判るように「○○○○○○分野（職位）応募」と明記してください。ペア応募については、2名分のPDFファイルを一緒に送付してください。（応募後7日以内に受理通知が届かない場合は、お問い合わせください。）

なお、別途郵送による提出は不要です。

応募に関する秘密は厳守します。また、応募いただいた個人情報は、個人情報保護法ならびに本学規定に基づいて適切に取り扱いますが、選考上必要な範囲において照会等を行う場合がありますので、ご了承ください。

1.1 選考スケジュール

- (1) 応募締切：平成27年10月12日（月） 必着（日本時間）
- (2) 選考方法：書類選考による1次審査を行い、1次審査通過者へは面接（プレゼンテーションを含む）による2次審査を行います。
2次審査は、本学にて11月中旬～12月上旬での実施を予定しています。
- (3) 選考結果：決定次第、本人宛通知します。
- (4) 着任時期：平成28年1月1日～2月16日
平成27年度中に着任できることが必須であり、研究経費の計画的執行の観点からも、できるだけ早い時期が望ましい。

1.2 提出先および問い合わせ先

- (1) 提出先
新潟大学研究企画推進部研究推進課研究推進係
E-mail: tenure-t@adm.niigata-u.ac.jp
- (2) 問い合わせ先（問い合わせは原則としてメールでお願いします）

【研究分野の問い合わせ】

太陽熱利用（機械工学/化学工学）分野：

新潟大学自然科学系教授 児玉 竜也（コダマ タツヤ）

TEL 025-262-7335, FAX 025-262-7335

E-mail: tkodama@eng.niigata-u.ac.jp

脳病態解析分野：

新潟大学脳研究所副所長 那波 宏之（ナワ ヒロユキ）

TEL 025-227-0613, FAX 025-227-0815

E-mail: hnawa@bri.niigata-u.ac.jp

【その他応募に関する問い合わせ】

新潟大学研究企画推進部研究推進課 石山

TEL 025-262-7571, FAX 025-262-5645

E-mail: tenure-t@adm.niigata-u.ac.jp

〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町 8050

13 その他

新潟大学研究推進機構超域学術院，自然科学系又は脳研究所については，それぞれのホームページを参照してください。

新潟大学研究推進機構超域学術院

<http://www.niigata-u.ac.jp/transdiscipline/index.html>

新潟大学自然科学系

<http://www.gs.niigata-u.ac.jp/~scitech/>

新潟大学脳研究所

<http://www.bri.niigata-u.ac.jp>